

【歴史・意匠A室（1題12分：発表8分，質疑4分）1号館4階142教室】

- ▶ 9：00～10：00 -----司会：松岡高弘，副司会：黒木佳奈
- 801 平行二棟造り民家遺構の年代について ○原田聰明（八代市立博物館未来の (597)  
 -熊本県の民家に関する研究（その28）- 森ミュージアム）・北野 隆
- 802 遺構調査からみた黒木の町家建築の形式 ○谷口 顕（九州大学） (601)  
 -黒木の町家建築に関する研究（1）- 宮本雅明
- 803 都市史と周辺環境からみた黒木の町家建築の形成要 ○谷口 顕（九州大学） (605)  
 因 宮本雅明  
 -黒木の町家建築に関する研究（2）-
- 804 大工丹宗常十の作品と作風 ○佐藤正彦（九州産業大学） (609)
- 805 九州の石造建造物の研究 ○稲用光治（宮崎工業高等学校） (613)  
 18. 備前の石工の活躍について（その2） 北野 隆・尾道建二・山元俊彦
- ▶ 10：10～11：10 -----司会：原田聰明，副司会：谷口 顕
- 806 柳河城内における屋敷割について ○堤 喜恵（有明工業高等専門学校） (617)  
 -旧柳河藩の武家住宅に関する研究 その1- 松岡高弘
- 807 柳河に現存する武家住宅について ○松岡高弘（有明工業高等専門学校） (621)  
 -旧柳河藩の武家住宅に関する研究 その2- 堤 喜恵
- 808 旧柳河藩主立花家の明治期における年頭儀式の場所 ○黒木佳奈（熊本大学） (625)  
 について 松岡高弘  
 -立花家住宅に関する建築的研究 その5-
- 809 九州地域における黄檗派の禅宗寺院についての建築 ○山本輝雄（建築史学会） (629)  
 史研究と建築論研究の両研究での一目標  
 -（京大・九大名誉教授）前川道郎博士の訓（おしえ）に触発されて-
- 810 （長崎市所在）黄檗派寺院についての日本建築様式 ○山本輝雄（建築史学会） (633)  
 史上での二・三の問題点  
 -九州大学名誉教授・太田静六博士のご指導に感謝する-
- ▶ 11：20～11：56 -----司会：佐藤正彦，副司会：堤 喜恵
- 811 「流弊改正控」所収の、山口祇園会「御上之山」調 ○政岡清計（九州共立大学） (637)  
 替に関する書状・絵図の写しについて
- 812 「屋根付き墓」に関する基礎的調査と分析 ○西江 博（鹿児島大学）・安山宣之 (641)
- 813 『米欧回覧実記』にみられる道路に関する記述 ○黒岩良美（佐賀大学） (645)  
 後藤隆太郎・丹羽和彦

（12：10～12：40）九州支部歴史・意匠委員会 1号館4階142教室

（12：50～13：20）九州支部研究者集会 10号館1階1011教室

- ▶ 13:30~14:30 -----司会：丹羽和彦，副司会：中村寛子
- 814 旧日本セメント八代工場の社宅その1 蒐集図面と社宅概要について 旧日本セメント八代工場の産業遺産（その8） ○磯田節子（八代工業高等専門学校） 興梠 通・石田敏明・原田聡明 富田真理子 (649)
- 815 旧日本セメント八代工場の社宅その2 各社宅について 旧日本セメント八代工場の産業遺産（その9）- ○興梠 通（前橋工科大学） 磯田節子・石田敏明・原田聡明 富田真理子 (653)
- 816 旧日本セメント八代工場の社宅その3 住宅営団による松高社宅 旧日本セメント八代工場の産業遺産（その10）- ○興梠 通（前橋工科大学） 磯田節子・石田敏明・原田聡明 富田真理子 (657)
- 817 旧日本セメント八代工場の社宅その4 松高社宅遺構について 旧日本セメント八代工場の産業遺産（その11） ○富田真理子（八代工業高等専門学校） 磯田節子・興梠 通・石田敏明 原田聡明 (661)
- 818 大正後期から昭和初期における官営八幡製鐵所の工場建築の設計と建設について 日本における鉄骨構造建築の導入と発展過程についての研究 その6 ○開田一博（九州共立大学総合研究所） 尾道建二 (665)
- ▶ 14:40~15:40 -----司会：政岡清計，副司会：黒岩良美
- 819 九州旅客鉄道（株）鳥栖駅舎について ○磯田桂史（崇城大学） (669)
- 820 筑豊の炭鉱における病院の設置状況について 炭鉱における病院建築に関する研究 その6- ○城戸幸美（有明工業高等専門学校） 松岡高弘・川上秀人 (673)
- 821 『日光回轉家屋』について ○西島真理子 (677)
- 822 如蘭塾の設計過程にみる遠藤新一の設計手法 ○永吉哲也（佐賀大学） 後藤隆太郎・丹羽和彦 (681)
- 823 わが国近代の住宅関連書籍にみられる「内玄関」について ○中村寛子（佐賀大学） 後藤隆太郎・丹羽和彦 (685)
- ▶ 15:50~16:14 -----司会：磯田桂史，副司会：永吉哲也
- 824 八代紺屋町の遊郭建築「黄金」について ○田島秀一（八代工業高等専門学校） 磯田節子・原田聡明 (689)
- 825 アメリカ議会図書館所蔵『南洋庁東部支庁関係書類』について 戦前期日本の南方進出に伴う建築活動と室内環境調整手法に関する研究 その12- ○辻原万規彦（熊本県立大学） 今村仁美・安浪夕佳 (693)

**【歴史・意匠B室（1題12分：発表8分，質疑4分）1号館4階143教室】**

- ▶ 9:00~10:00 -----司会：太記祐一，副司会：難波千帆
- 828 エジプト・Akoris 西方神殿域の岩窟墓神殿に関する研究 ○繁永政志（九州大学）・堀 賀貴 (697)

- 829 バッサエのアポロ神殿の平面設計法に関する研究 ○北野恵梨(都城工業高等専門学校) (701)  
林田義伸
- 830 地中海古代都市の研究(120) ○安井伸顕(熊本大学)・伊藤重剛 (705)  
古代都市メッセネのメッセネ神殿調査報告2006 林田義伸
- 831 非古典的傾向を示すワシリー・バジェノフの作品について ○池田雅史(東海大学)・羽生修二 (709)
- 832 19世紀末のアムステルダムにおける集合住宅のエントランス構成に関する研究 ○吉良直子(九州大学)・末廣香織 (713)  
De Pijp及びOud Zuid地域の事例について
- ▶ 10:10~11:10 -----司会: 司会:伊藤重剛, 副司会:久我真梨子  
826 アジア協会員によるインド研究と英国化政策 ○高松由子(設計機構由) (717)  
19世紀前半のアジア協会におけるインド建築研究の状況
- 827 アジア協会員による西北インドの建築研究とアレキサンダー・シンドローム ○高松由子(設計機構由) (721)  
1830年代のアジア協会におけるインド建築研究の状況
- 833 20世紀初頭アムステルダム郊外の田園都市と墓地公園に関する考察 ○末次宏成(九州大学)・石田壽一 (725)  
20世紀オランダ近代建築運動及び作品研究20
- 834 H. P. ベルラーへの設計手法における社会主義理念と集合住宅計画に関する考察 ○大下真希子(九州大学)・石田壽一 (729)  
20世紀オランダ近代建築運動及び作品研究21
- 835 低地オランダにおける田園都市理念と都市拡張計画への影響に関する考察 ○稲山雅大(九州芸術工科大学) (733)  
20世紀オランダ近代建築運動及び作品研究22 石田壽一
- ▶ 11:20~11:56 -----司会:末廣香織, 副司会:大下真希子  
836 C. v. エーステレンによる湖沼干拓ポルダー拡張計画に関する考察 ○難波千帆(九州大学)・石田壽一 (737)  
20世紀オランダ近代建築運動及び作品研究23 末次宏成
- 837 J. ダウカー設計作品における平面構成に関する考察 ○小川泰輝(九州大学)・石田壽一 (741)  
20世紀オランダ近代建築運動及び作品研究24
- 838 アルド・ファン・アイク設計によるスペールブラーツの作品研究(その6) ○久我真梨子(九州大学)・石田壽一 (745)  
20世紀オランダ近代建築運動及び作品研究25

(12:10~12:40) 九州支部歴史・意匠委員会 1号館4階142教室

(12:50~13:20) 九州支部研究者集会 10号館1階1011教室

- ▶ 13:30~14:30 ----- 司会：土居義岳，副司会：南方雄貴
- 839 初期オランダ構造主義の都市計画に関する考察 ○井上宗則（九州大学）・石田壽一（749）  
20世紀オランダ近代建築運動および作品研究26 桑山卓也
- 840 バウクスロッターメーアにおけるA.ファン・アイク ○桑山卓也（九州大学）・石田壽一（753）  
とJ.B.バケマの計画案に関する考察 井上宗則  
20世紀オランダ近代建築運動及び作品研究27
- 841 アルド・ファン＝アイクのPastoor van Ars kerkに ○長友 渉（九州大学）・末廣香織（757）  
における対現象に関する考察  
求心的ゴシック教会堂と多中心的プエプロ族の礼拝  
空間との比較を通して
- 842 オランダのボンネルフ（生活の庭）の空間構成に関 ○石井千尋（九州大学）・山根信太郎（761）  
する研究（その1） 石田壽一  
オランダ現代建築における“Shared Space”に関する  
研究1
- 843 オランダにおけるボンネルフ（生活の庭）の空間構成 ○山根信太郎（九州大学）・石田壽一（765）  
に関する研究（その2） 石井千尋  
現代オランダ建築における“Shared Space”に関する  
研究2
- ▶ 14:40~15:40 ----- 司会：島岡成治，副司会：大西隆史
- 844 OMAによる初期6作品の形態構成的特徴に関する ○佐々木翔（九州大学）・石田壽一（769）  
研究  
20世紀オランダ現代建築作品研究
- 845 ボルネオ・スポールンブルグ島の空間構成的特徴に ○山本和明（九州芸術工科大学）（773）  
関する研究 石田壽一  
現代オランダ建築における“Shared Space”に関する  
研究4
- 846 近代南京市都市計画策定過程と内容に関する研究 ○樹 軼（九州大学）・石田壽一（777）  
（その3）  
田園都市計画理念の導入
- 847 東山陸巷の街路空間における場面構成要素の継起的 ○大淵博文（九州大学）・石田壽一（781）  
形式に関する考察 樹 軼  
中国蘇州水域隣接定住環境の人口環境デザインに関する  
研究
- 848 篠原一男の「亀裂」 ○林 直樹（九州芸術工科大学）（785）  
その時代を語るキーワードとして 土居義岳
- ▶ 15:50~17:02 ----- 司会：石田壽一，副司会：大淵博文
- 849 建築家の「社会性」とは何か ○隈 翔平（九州芸術工科大学）（789）  
宮脇檀を通して 土居義岳
- 850 鹿児島地域の建築デザイン動向に関する考察 ○柴田和朗（鹿児島大学）・安山宣之（793）  
鹿児島市建築文化賞応募作品の場合
- 851 広瀬淡窓の詩における咸宜園の場所と住まい ○島岡成治（日本文理大学）（797）

- 852 建築とその観光イメージ  
ー巖島神社を例としてー ○大西隆史 (福岡大学) (801)
- 853 写真と建築  
佐藤辰三と石元泰博は桂離宮をどう再構成したか ○脇田麻衣 (九州芸術工科大学) (805)  
土居義岳
- 854 空間の時間  
～空間固有の時間に着目した空間計画学～ ○南方雄貴 (福岡大学) (809)